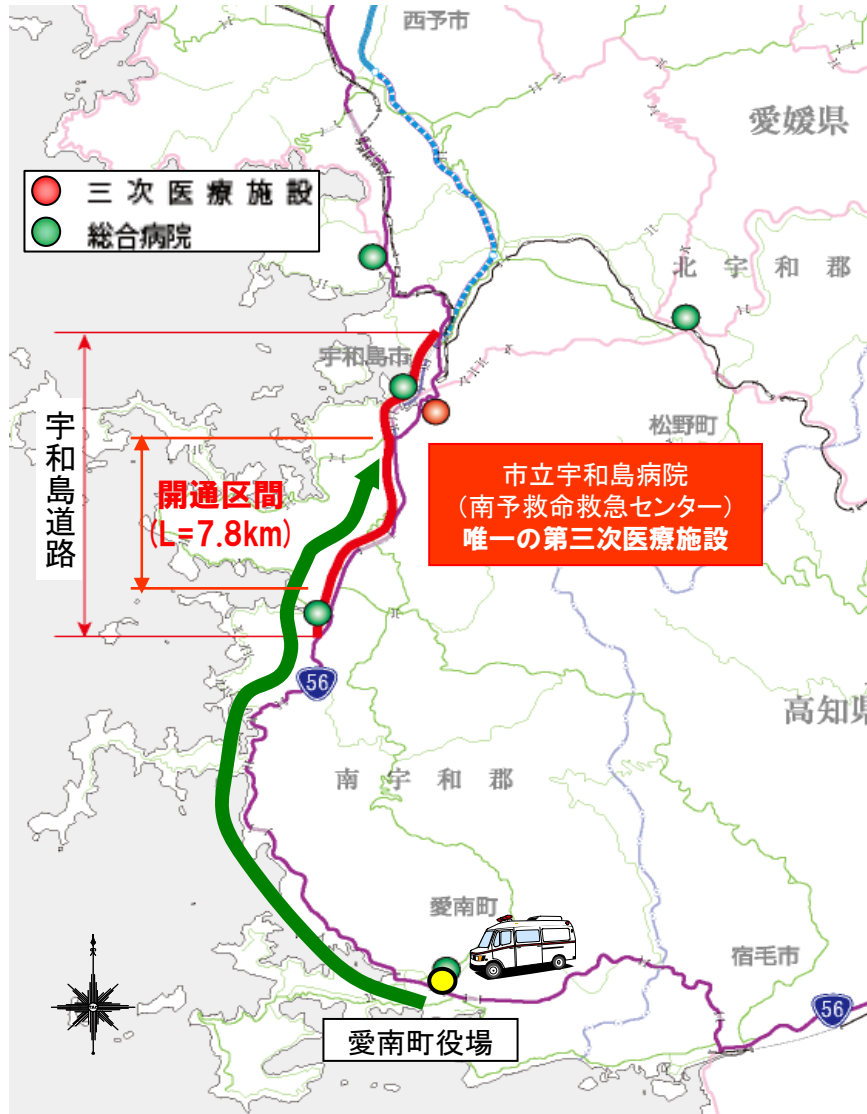
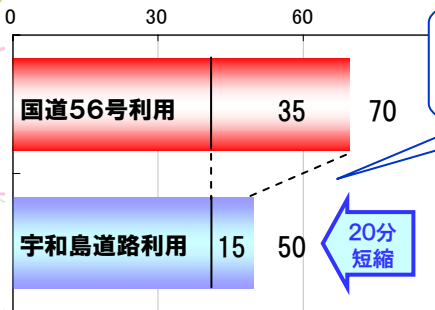


宇和島道路(津島高田IC～宇和島南IC)の開通で医療救急活動時のアクセスが向上

・搬送時間の短縮により愛南町中心部が第三次医療施設への60分カバー圏域に入る。



愛南町～市立宇和島病院間の所要時間 (分)



国道56号利用：H17道路交通センサスの混雑時速度より算出
 宇和島道路利用：国道56号利用時に対して、津島高田IC～宇和島坂下津IC間を宇和島道路の規制速度70km/hを使用して算出



救急輸送関係者の声

・横揺れが発生しない救急車内であれば、**注射などの治療の幅が広がる。**

・小児など救急車内での固定が困難な患者の搬送時にも負担が軽減される。

(愛南町消防本部ヒアリング結果)

・一般道では走行中に気管挿管、注射、心電図ができない。**高速なら可能**である。

(宇和島病院救急担当医のヒアリング結果)

60分圏域

「ゴールデンアワー」という理念

「犠牲者が60分以内に手術台へ運ばれたら生存率がもっと高まる」

メリーランド大学病院のR. アダムス・カウリイ博士



■愛南町消防本部(旧南宇和消防事務組合)の管轄外搬送人員の推移

